

(件名) 鹿児島県の森林資源を有効活用するための陳情

(陳情の趣旨)

本県の森林面積は総面積の7割に当たる約59万haを占めており、民有林のスギ・ヒノキの樹齢50年を超える森林も約10万haに達しています。このことから数年前から木質バイオマス事業や輸出向けといった需要が格段に増えているとともに、皆伐される森林も増加しています。

また、全世界的に脱炭素社会の早期実現に向けて具体的な方針が打ち出されたところでもあります。森林は二酸化炭素を吸収し温暖化対策に多大な効力があり、鹿児島の恵み豊かな自然、とりわけ森林の果たす役割は我々が直接目にするにはできませんが、今ここで再度「山」に目を向け関心を持つことが重要であると考えます。

そこで森林資源を将来に持続させ、先代から受け継いだ森林を有効活用するために以下について陳情いたします。

1. 将来にわたって皆伐から造林・育林が自然と人に優しい森林づくりを構築すること。
2. 官・民連携して森林施業に適した林道・作業道の整備を促進すること。
3. 人が憩いの場として森林と共存するための活動・森林環境教育の場の整備を促進すること。
4. 自然災害に強い山づくりをするために適切な補助金を持続的に国・県等に対して働きかけること。
5. 自然災害による下流への負担を無くすために伐採事業者への行政による森林管理の強化を図ること。
6. 県民が木材とふれあうことにより木の良さや重要性について理解するために今後県が設置する施設の建設において地元材を多く利用すること。
7. 森林資源や農作物の被害がイノシシやシカ・タヌキ等により深刻な状況である。  
適切な個体数にするため狩猟者の資格取得について一層の支援と、捕獲数の増大を図るための環境整備に努めること。
8. 森林林業・林産業に従事するための専門的知識の向上及び技術や資格等の取得を容易且つ柔軟に対応するための大学校創設に向けた検討を求める。

以上鹿児島県議会に対して強く陳情します。